

## 北海道地すべり学会 平成 21 年第 2 回技術委員会報告

平成 21 年第 2 回技術委員会を 10 月 2 日（金）14:30～17:00、松崎南 1 条ビルディング 2F 会議室にて開催した。委員会の参加は 16 名（委員 11 名、他 5 名）であった。活動内容について以下にまとめて示す。

### 1. 話題提供について

今回は、以下に示す 3 つの話題提供があった。

- ① TK 相取工法と急傾斜地土留柵工用仮設足場のすべり破壊防止方法  
(株)伊丸特殊工事 野田 修 氏
- ② 地すべり粘土と水質および風化との関係  
日本公共企画(株) 松木 義則 氏
- ③ 北海道生田原南地すべり防止区域における岩屑・土砂地すべりのすべり面（仮題）  
北見工業大学 前田 寛之 教授

内容は、急傾斜地における土留柵工施工に伴う仮設足場の事例紹介、地すべりと水質、風化の関する紹介、および生田原南地すべりを例とした地すべり粘土に関する研究成果と幅広いジャンルが紹介され、各方面において非常に有意義な内容であった。発表後、各件に対し委員等から、内容を深めるべく多くの質問や議論がなされた。



写真-1 委員会状況

### 2. 今後の活動計画について

主に活動計画に関する議論がなされ、地すべりに関する調査技術・対策工法等に関する話題提供を行うとともに、以下の 3 つのテーマについて、調査・研究を行い、成果を報告することで一致した。

- ①地すべり調査・設計・対策技術に関するアンケート
- ②地すべり技術に関する Q & A
- ③地すべり粘土に関する研究

なお、前回の議論対象であった Q & A 質問用紙の普及について、北海道地すべり学会 HP にてダウンロード可能とする対応を施したことを報告した。ただし、質問件数はまだ数件であるため、各委員の所属会社（内部）を含め、再度収集に協力いただくよう打診した。

### 3. 委員会より参加者の募集

技術委員会は現在、有志 34 名で構成され、地すべりに関する調査・解析、設計・施工などの研究、討論を活発に行っております。技術委員会の活動に興味があり、委員としての参加を希望なされる方は、下記連絡先まで FAX 又は E-mail にてご一報ください。また、本委員会は毎年 3 回以上の実施を目標とし企画を行っております。委員会は委員以外の方でも参加は自由ですので、数多くの方のご参加をお待ちしております。

[北海道地すべり学会 技術委員会 事務局]

連絡先：株式会社シビテック 防災地質部 柴田 純

TEL 011-816-3004 FAX 011-816-2563

E-mail [j.shibata@civitec.co.jp](mailto:j.shibata@civitec.co.jp)